

令和2年鋸南町教育委員会第13回定例会議事録

1. 日 時 令和2年12月17日（木）午後2時00分開会～午後3時14分閉会
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永安男 教育長職務代理者 山野正人
委 員 中山郁夫 委 員 篠原恭恵
4. 出席職員 教育課長 福原規生 主任指導主事 桂 幸一
教育総務室長 石井 肇 生涯学習室長 笹生浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が山野委員を指名
7. 議事録の承認 令和2年11月19日開催の第12回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者無し

9 教育長の報告

本日は2点ご報告をいたします。お手元の資料をご覧ください。

はじめに「学校のトイレ今でも和式4割」の資料です。

教育長に就任した時、町長に行政が行うべき優先課題がこんなにありますと話を
する中で、みなさんのご協力のおかげで幼稚園保育料や給食費の無償化、小中学校
へのエアコン設置など様々な事業を実行できて感謝しております。

そのような中で、学校トイレの洋式化も課題であることを認識しており、町学校
施設のトイレは現在、幼稚園と小学校は100%洋式です。中学校は20%になっ
ていますが、今のところ生徒や保護者から苦情などは一切ありません。

一方、全国で見ますと約60%が洋式という結果です。都道府県で最も高いのが富
山県で79.3%、次いで東京都、神奈川県という状況です。逆に最も低いのは島根
県、山口県の順になっています。

何故このような状況になっているかと言いますと、今や家庭のほとんどが洋式で、
子どもと言っても、学校で和式を使うには抵抗があります。文部科学省においても洋
式化を強力的に推進しています。

一方で、和式が4割残っている理由には、例えばプールのトイレなどは色々な人が
使いますから和式ですし、公共施設では1つを和式にしたいといった需要がありま
す。

駅などは、今でも和式があることから、教育上必要という学校の要望に加え、他人

が使った便器には座らせたくないとの保護者の声があると分析されています。

熊本地震の時には、学校が避難所として使用された際、和式があつて良かったということもあったそうですが、お年寄りや障害がある人は洋式の方が使いやすいこともあります。

いずれにしても、ほとんどの家庭で洋式トイレを使って育っていることを考えれば、学校の洋式率をもっと上げていくべきだと思っています。きれいで、使いたいと思えるトイレがあればいいのかなと考えています。

2点目は、特別支援教育関係の資料からです。これは南房総教育事務所が発行している「南房総の風」として、時折情報を提供いただいているものです。

改めて考えましたのは、発達障害と愛着障害の違いについてです。

発達障害は先天的なものですが、愛着障害は幼児期の環境や家庭での養育の中で起きる後天的なものです。

親の愛情不足から生じた様々なケースで、問題を起こし障害になっていることが多々あります。特に虐待関係の大きな要因として、親の愛情不足があると言われていきます。

そのようなことを考えますと、これからの鋸南教育の視点として、今日も音楽を演奏する人が子育て広場に来て、親子に対する素晴らしい催し物がありましたが、お陰様で好評で嬉しい限りです。今後も子育て広場を中心に、子育て施策を充実させたいと思いました。

以上で、教育長の報告とさせていただきます。

10 議 事

(1) 報告事項

- ① 石井教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降に1件あったと、別紙説明資料により報告・説明がなされた。
- ② 桂主任指導主事から、小中学校の児童・生徒の様子について報告・説明がなされた。
- ③ 笹生生涯学習室長から、1月10日の新春マラソン記録会開催と成人式中止に伴う成人者への対応等について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(質疑)

- ・ 中山委員から「成人式は検討する段階で開催時期を変更する話がありましたか。」との質疑に対し、
 笹生生涯学習室長から「新型コロナウイルス感染の終息については見通しが立ちませんので、成人者に記念DVDを配付する対応といたしました。」との答弁がなされた。
 - ・ 山野委員から「近隣市の成人式開催の状況は。」との質疑に対し、
 福原課長から「鴨川市と南房総市は中止と聞いています。館山市は検討中のようです。」との答弁がなされた。
- ④ 石井教育総務室長から、12月補正予算の議決について、教育関係機関の年末年始

の予定について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

- ⑤ 福原教育課長から、12月議会定例会の教育委員会関係一般質問について、町報12月号における保育士募集について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(意見)

- ・ 篠原委員から「子ども達が、台風や新型コロナで学習できない時でも利用できるようタブレットを早く整備する必要があると思います。どの子どもにも教育が行き渡るように、そしてそれを先生方も使いこなせるような環境を、今から作っておくべきだと思っています。」との意見があった。

(2) その他

- ① 石井教育総務室長から今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

- ② 富永教育長から、前回定例会で述べた鋸南幼小中教育構想について、教育委員に意見を求めた。

(意見)

- ・ 篠原委員から「幼稚園から小学校、小学校から中学校の間のギャップはどうしてもあり、スムーズに流すことを以前から関連する先生により意見交換しながらやってきました。しかし、その辺の移行は進まなかったのが現状だと思います。鋸南町では盛んに先生方の交流があり、お互いに良いところを学びながら、子ども達に無駄なくスムーズに学習が進められるような状況にはなっていると思います。学園構想が教育長からありましたが、そういうことが主であれば、もっと先生や保護者に意識づけ出来るならば、学園構想を打ち出しても良いのではないかと思います。」との意見があった。
- ・ 中山委員から「学園構想の中で、見える部分と見えない部分があり、1つの塊になるのか、場所が離れていてどうなのかということが浮かんできます。ただし、前々から話があるように、繋がってずっと一人の子どもを見て育てるという意味では、非常に必要な部分であると思っています。望むことは、先ほど教育長からありましたが、一人の生徒に関してケース会議を繰り返しているということでしたが、それが全てなのかなと私は思います。一人の人間としてこの町に生まれて、それを先生方が幼稚園からずっと見て行くという意味では、そのような繋がりがなくてはできないと思います。学校以外の方も介し、一人に問題が起きた時に集まれるようなケース会議が、出来るくらいの形がいいのかなと思います。その中の一つとして、学園構想がアナウンスされれば皆さん理解されると思います。流れ的には、一人のために全員が集まるような考えだと思いますので、それはこの国においても必要なことだと思います。」との意見があった。

- ・ 山野委員から「賛成です。鋸南町は幼小中それぞれ1校ですし、元々その素地はできています。中学校だけ場所が違うのは引っ掛かりますが、これからちょうど良いタイミングとして、英語が幼稚園から始まっていて、その中で英語やプログラミング教育などを専門の先生が教えた方がいいのではないかとということも出てきています。その流れから行くと、小学校の学級担任制から中学校の教科担任制については、段々とそれが小学校へにじり寄ってきていますから、上手く利用するのも良いのかなと思います。本当は、中学校の先生がもっと小学校の授業に入り込めれば理想かなと思います。しかしそれは、校舎が離れていますので不可能なこともあるのかなと思っています。上手く利用して行ければ、鋸南町独自で特色のある教育を打ち出していける良いチャンスだと思い私は賛成です。」との意見があった。

- ・ 教育委員の意見に対し、富永教育長から「ありがとうございました。必ずしも、賛成意見だけではありませんし、課題が無い訳でもありません。少なくとも、向こう10年の鋸南教育を見据えた上で、私なりに常々思っていることを披露させて戴いたところですよ。そうは言っても、一つの形を創るには、やはり1年では行かないこともありますし、ましてやソフト面で大きく変革して行こうなどということは、これまた5年、10年の長い時間を掛けてやっておかなければいけない事も多々あります。多々ありますが、何もしないのは停滞したのと同じではないかと私は思っています。意のあるところを汲み取っていただいて、多くの賛成を戴けるのであれば、私はそれに向かって迷うことなく、突き進みたいと常々考えております。今後ともよろしく願いいたします。」との返答がなされた。

- ③ 富永教育長から、来年3月の定例会について協議があり、3月17日水曜日の午後2時から中央公民館で開催することに決定した。

11 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和3年1月28日

鋸南町教育委員会 教育長 富 永 安 男

教育委員 山 野 正 人

議事録作成 事務局 石 井 肇